

## II

### 社会参加・共生推進学習事業の概要



多摩市民館 識字学習活動①



多摩市民館 識字学習活動②

## Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。

### （１）識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985（昭和60）年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科（夜間）を国際識字年である1990（平成2）年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992（平成4）年に麻生市民館、1993（平成5）年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996（平成8）年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域（学校）などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』〔2003（平成15）年3月〕が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

### （２）識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針－多文化共生の社会をめざして－』に基づき、識字（日本語）学級の学習者と支援者（ボランティア）の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2009（平成21）年度も分館を除く全館で実施した。新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修を実施した。2004（平成16）年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ（参加体験型学習）等の研修の試案が提案され、2006（平成18）年度から、南・中・北の地域ごとに実践が始まっている。

### （３）社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982（昭和57）年に開設した。2009（平成21）年度は教育文化会館が担当し、国語、数学、音楽（特別授業）の学習を行った。

### （４）障がい者社会参加活動

障がい（主に知的障がい）のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966（昭和41）年に産業文化会館（現教育文化会館）で初めて開設した。1998（平成10）年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合に限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

### （５）障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997（平成9）年度から開設した。全市の障がい者社会参加活動のボランティアを対象としている。

## II 1 識字学習活動

### 教文 (にほんごひろば)

開設期間	4月15日(水)～3月17日(水) 19:00～20:30 合計40回		
ボランティア	日本語支援	55人(公募登録ボランティア) ※サポーター1名含む	保 育 5人(公募登録ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーパーティ(7/19) 参加者 88人</li> <li>・浴衣を着る会(8/5)</li> <li>・スポーツ交流会(11/11) 参加者 20人</li> <li>・ウインターパーティ(12/20) 参加者 75人</li> <li>・「にほんごひろばニュース」No.1～38発行(基本的に毎学習日)</li> </ul>		

### 幸(1) (幸日本語学級 午前コース)

開設期間	4月15日(水)～3月17日(水) 10:00～11:30 合計36回		
ボランティア	日本語支援	15人(グループなし)	保 育 11人(保育ボランティアグループ「キャンディ」)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント(7/15) 飛行機飛ばし、チャリインゲーム、盆踊り、歌</li> <li>・冬のイベント(12/16) 救命救急講習、AED体験</li> <li>・料理会(8/5、3/31)</li> </ul>		

### 幸(2) (幸日本語学級 夜間コース)

開設期間	4月9日(木)～3月18日(木) 19:00～20:30 合計35回		
ボランティア	日本語支援	17人(グループなし)	保 育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東芝科学館見学(5/30) 参加者 20人</li> <li>・夏のイベント(猛獣狩り、フルーツバスケット、ビンゴ)(8/6) 参加者 35人</li> <li>・横浜へ行こうね(赤レンガ倉庫散策など)(11/8) 参加者 23人</li> <li>・冬のイベント(飛行機飛ばし、輪投げ、ビンゴ)(12/14) 参加者 33人</li> </ul>		

### 中原(1) (火曜日昼間コース)

開設期間	4月28日(火)～3月9日(火) 10:00～12:00 合計33回		
ボランティア	日本語支援	24人(ことばの木)	保 育 10人(どんぐりの会)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会(6/9) 参加者 38人</li> <li>・料理教室(10/13・20) 参加者 35人</li> <li>・生け花教室(11/17) 参加者 15人</li> <li>・お楽しみ会(12/8) 参加者 69人</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>		

### 中原(2) (火曜日夜間コース)

開設期間	4月28日(火)～3月16日(火) 18:30～20:30 合計36回		
ボランティア	日本語支援	16人(はらっぱ)	保 育 なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理&amp;折り紙教室(7/28) 参加者 29人</li> <li>・遠足:東高根森林公園(収穫祭での餅つき)(10/26) 参加者 21人</li> <li>・料理教室(12/16) 参加者 29人</li> <li>・茶話会(3/16) 参加者 25人</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>		

### 高津(1) (たかつにほんごきょうしつ 昼コース)

開設期間	4月22日(水)～3月10日(水) 10:00～11:30 合計34回		
ボランティア	日本語支援	21人(あいうえおの会)	保 育 10人(高津保育ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーガイドの会と巡る高津の史跡(7/1) 講師 シルバーガイドの会 1名 参加者 35人</li> <li>・外国人のための護身術・少林寺拳法(7/22) 講師 少林寺拳法連盟 川崎東支部 吉田 正美他 6人</li> <li>・高津小学校での国際交流総合学習への参加(11/4)</li> <li>・忘年会(12/9)</li> <li>・文集作り</li> <li>・料理で国際交流をしよう!(3/3)</li> </ul>		

## 高津(2) (たかつにほんごきょうしつ 夜コース)

開設期間	4月16日(木)～3月11日(木) 19:00～20:30 合計32回		
ボランティア	日本語支援	12人(三本木の会)	保 育 なし
事業事例	・1学期末交流パーティー(7/9) 参加者 49人 ・秋の課外活動・火力発電所とビール工場見学(11/8) 参加者 36人 ・忘年会(12/10) 参加者 50人 ・3学期末交流会(3/11) 参加者 35人		

## 宮前(1) (日本語学級 昼コース)

開設期間	4月10日(金)～3月12日(金) 10:00～12:00 合計35回		
ボランティア	日本語支援	27人(宮前日本語ボランティアの会)	保 育 8人(宮前市民館保育ボランティア登録者)
事業事例	・交流会(12/11) 参加者 65人 ※宮前日本語ボランティアの会との共同事業		

## 宮前(2) (日本語学級 夜コース)

開設期間	4月15日(水)～3月10日(水) 19:00～21:00 合計34回		
ボランティア	日本語支援	11人(グループなし)	保 育 なし
事業事例	・年度末交流会(3/10) 参加者 16人		

## 多摩(1) (たまにほんごクラス 午前コース)

開設期間	4月8日(水)～3月17日(水) 10:00～12:00 合計37回		
ボランティア	日本語支援	32人(多摩にほんごの会)	保 育 26人(多摩保育グループ)
事業事例	・盆踊り教室(7/15) 講師 多摩区文化協会 3人 参加者 41人 ・新型インフルエンザ講習会(9/30) 講師 多摩区保健福祉センター地域保健福祉課職員 2人 参加者 38人 ・忘年会(12/15) 参加者 40人 ・原則毎月最終活動日については、学習者同士の交流・情報交換の活性化を図るため、大会議室で活動。		

## 多摩(2) (たまにほんごクラス 夜間コース)

開設期間	4月10日(金)～3月5日(金) 19:00～20:30 合計37回		
ボランティア	日本語支援	18人(グループ「たま語」)	保 育 なし
事業事例	・夏の和室イベント(6/26、7/3) 参加者 25人、32人 ・盆踊り(7/24) 参加者 21人 ・料理教室(9/25) 参加者 27人 ・忘年会(12/14) 参加者 21人 ・冬の和室イベント(2/19、2/26) 参加者 22人、17人		

## 麻生(1) (あさおにほんごクラス 午前コース)

開設期間	4月16日(木)～3月11日(木) 10:00～11:30 合計36回		
ボランティア	日本語支援	23人(グループなし)	保 育 6人(ジャンケンボン)
事業事例	・救命講習(10/29) 講師 麻生消防署署員 参加者 39人 ・お正月遊び(12/17) 参加者 47人 ・七草粥(1/7) 参加者 32人 ・交流会(3/11) 参加者 48人		

## 麻生(2) (あさおにほんごクラス 夜間コース)

開設期間	4月16日(木)～3月11日(木) 18:30～20:00 合計36回		
ボランティア	日本語支援	12人(グループなし)	保 育 なし
事業事例	・料理(7/16) 参加者 25人 ・卓球大会(12/17) 参加者 25人 ・茶話会(3/11) 参加者 24人		

# 学習者国別リスト

No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
		夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	
1	中国	210	59	34	45	49	56	63	28	24	43	34	29	17	691
2	韓国	18	16	3	24	6	21	3	9	5	12	3	8	7	135
3	台湾	6	3	5	6	3	4	6	3		2	2	8		48
4	アイルランド					2		1							3
5	アメリカ				1	1		5	5	7	15	2	20	10	66
6	アルジェリア						1								1
7	アルゼンチン	4	1												5
8	アルバニア	1													1
9	イギリス				2		1	3	1	2	1	1		1	12
10	イスラエル							2			1				3
11	イタリア														0
12	イラン			1	1		2	1							5
13	インド	56	8	3	3	1					4	1	1	1	78
14	インドネシア	11	2		1	2	1	1	2	1	2		5	1	29
15	ウクライナ								3						3
16	ウズベキスタン								1		1				2
17	エクアドル	1							1				1		3
18	エジプト										1				1
19	エチオピア				2	1									3
20	オーストラリア		1	1	1			5		1		1	2		12
21	オーストリア													1	1
22	オランダ							1	1						2
23	ガーナ					2									2
24	カナダ				1			2	1	1					5
25	カンボジア														0
26	ギニア							1				1			2
27	キューバ					2				1					3
28	グアテマラ		1		1		1		1						4
29	ケニア								1	1	1				3
30	コートジボアール										1		1		2
31	コスタリカ					1		1		1			1		4
32	コロンビア	1			1			1							3
33	コンゴ								2						2
34	ジャマイカ														0
35	シンガポール						1	1			1	1			4
36	スイス								1						1
37	スペイン				1	1	2	1				1		1	7
38	スリランカ	4			3	1	3	4	1	2	11		3		32
39	セネガル	1													1
40	タイ	13	2	1	7	3	5	2	5		4	2	10	3	57
41	タンザニア								1						1
42	チベット													1	1
43	チュニジア														0
44	チリ												1		1
45	ドイツ			1	1	1					1	2	1	1	8
46	トルクメニスタン							1							1
47	トルコ							1	2	2			1		6
48	ナイジェリア	1					1	1			2			1	6
49	日本	1					1								2
50	ニュージーランド														0
51	ネパール	14	1	1	18	14	3	3	1	2	4	2			63
52	パキスタン	4				1		2					1		8
53	ハンガリー								1						1
54	バングラデシュ		2	1											3
55	フィリピン	65	8	4	15	4	21	21	12	3	15	17	5	7	197
56	フィンランド				1										1
57	ブラジル	23	2						1	1	1		2		30
58	フランス				1	1	1	1	1	2	1				8
59	ベトナム	41		2	1	9	3	14		1	5	5	1		82
60	ベネズエラ		1	1	2										4
61	ペルー	27	4	14			4	4			1	1			55
62	ベルギー									2					2
63	ポーランド	1													1
64	ボリビア	2			1	1									4
65	ポルトガル						1								1
66	マリ									1					1
67	マレーシア		1		3				1		2	2			9
68	ミャンマー (ビルマ)										1	1		1	3
69	メキシコ		1	3	1	1	1		1						8
70	モロッコ								1						1
71	モンゴル	2						2							4
72	ルーマニア		1				2								3
73	ロシア				2				1	1	2	1	1		8
74	不明	3													3
合計		510	114	75	146	107	138	152	89	61	135	80	102	53	1762
参加延べ人数		3263	1088	684	935	627	1598	1291	1024	408	1292	509	1026	425	14170

## II 2 識字ボランティア研修

### 教文 識字ボランティア研修（入門）

タイトル：識字・日本語ボランティア入門研修

主 題：異文化？良い文化！体験しま専科

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・12	土	日本語学習を通じた多文化共生を考えると共に、外国人市民の日本語学習支援を通して、多文化共生のまちづくりを実践していくための知識や手法を得る	オリエンテーション 異言語体験学習	職員 助言者 外国人市民 4人
2	19	土		外国人市民とまち歩き	神奈川大学 准教授 富谷 玲子 外国人市民 3人
3	26	土		地域に密着した生活日本語の教材をつくる	富谷 玲子
4	10・14	水		ボランティアの体験談を聞いて、学級を見学する	職員 助言者 「にほんごひろば」 ボランティア 3人
5	21	水		外国人市民がどういふ日本語を必要としているのか、事例から学ぶ①	富谷 玲子
6	28	水		外国人市民がどういふ日本語を必要としているのか、事例から学ぶ②	
7	11・4	水		学習者のニーズに合った学習の進め方を考える	NPO 法人中学・高校生の日本語支援を考える会 代表 樋口 万喜子
8	11	水		にほんごひろばの交流行事に参加する ～スポーツ交流会（宮前小学校）	職員
9	18	水		具体的な学習事例を挙げて、留意点や実践方法を学ぶ	樋口 万喜子

※9 / 12（土）、19（土）、26（土）は、教文・幸・ふれあい館の合同研修です。

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00～12:00・18:30～20:30

●対象 関心のある方

●参加者数 11人（男6人、女5人）

●延べ人数 56人

### 教文 識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

タイトル：識字・日本語ボランティア研修（ブラッシュアップ）

主 題：学習をわかりやすく、より深めるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・29	火	日頃の活動で感じている日本語教授法についての疑問や不安を共有し、解消する	「日本語教授法」の基本を地域の日本語学級に生かすために～全体向け	神奈川大学 准教授 富谷 玲子
2	11・24	火		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～ビギナー・初級編	
3	12・1	火		学習者の日本語レベルに応じた学習内容とその展開を考える～中・上級編	

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 18:45～20:45

●対象 日本語学習支援活動を行っている方、関心のある方

●参加者数 13人（男6人、女7人）

●延べ人数 17人

## 幸 識字ボランティア研修 (入門)

タイトル：識字・日本語ボランティア入門研修

主 題：識字学習活動の意義を理解し、外国人市民へのボランティアによる学習支援を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・12	土	外国人市民が日常感じていることを疑似体験したり、話を聞くことにより、ともに暮らしていくために何ができるかを考える	オリエンテーション 異言語体験学習	外国人市民 職員
2	19	土		外国人市民とまち歩き	神奈川大学准教授 富谷 玲子 外国人市民3人
3	26	土		まち歩きから得られた生活情報を学習教材として活かすための手法を学ぶ	富谷 玲子
4	10・7	水	幸区の外国人をとりまく現状を理解する	幸区の外国人市民の現状	幸区役所区民課 主任 竹田 恵美子
5	14	水	識字学級の目的を理解する	識字学級の目的を理解し、共同学習とは何かを学ぶ	中原図書館 館長 寺内 藤雄
6	21	水	ボランティア活動の心構えを身につける	ボランティア活動について	(財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
7	11・4	水	学習の場作り	日本語学習支援の方法を学ぶ	T I J 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
8	11	水			
9	18	水	外国人市民の声を直接聞いてみる	外国人市民の声を聞く	外国人市民 職員
10	12・2	水	まとめ	まとめ、振り返り	職員

※9/12(土)、19(土)、26(土)は、教文・幸・ふれあい館の合同研修です。

- 開設場所 教育文化会館、幸市民館
- 時 間 帯 主に13:00～15:00
- 対 象 関心のある方
- 参加者数 3人(男0人、女3人)
- 延べ人数 27人

## 幸 識字ボランティア研修 (午前ブラッシュアップ)

主 題：学習者とボランティアがともに学びあう「共同学習」の場を作る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・28	水	ボランティア同士のコミュニケーションを考える	「傾聴」を学び、聴くことの効用、聴くことの阻害要因を知る	a n d C ' s 代表 藤田 潮
2	11・25	水	学習者の視点にたった学習の進め方	学習者の気持ちとことばの学習支援について考える	川崎市外国人市民代表者会議 委員 朴 海淑
3	1・27	水	学習の場づくり① ②③	テキストの作り方、例文の使い方を改めて見直す	T I J 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
4	2・24	水			
5	3・10	水			

- 開設場所 幸市民館、市立商業高校
- 時 間 帯 13:00～15:00
- 対 象 識字学習ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 19人(男5人、女14人)
- 延べ人数 70人

## 幸 夜間ブラッシュアップ

主 題：識字ボランティアの資質向上を図り多文化共生社会の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・18	木	多様な文化を持つ市民が共に生きる地域社会の実現を目指すための活動や学級のあり方について考える	多様な文化をもつ人々とのコミュニケーションについて理解を深め活動に活かす	(財)海外技術者研修協会 AOTS日本語教育センター長 春原 憲一郎
2	9・17	木		学習者のレベルに合わせての具体的な支援方法と学習の進め方について	早稲田大学日本語教育センター 講師 塩崎 紀子
3	11・19	木		言葉や文法の知識を伝えるために会話のスキルを身につける	明海大学 講師 西川 寛之
4	28	土		地域日本語ネットワークのつどいに参加し、他の市民館のボランティアと交流・意見交換を行う	早稲田大学紛争交渉研究所 客員研究員 鈴木 有香
5	2・18	木		外国人台帳制度の導入により外国人市民の生活・労働環境がどのように変わるのかを学ぶ	立教大学 専任講師 鈴木 江理子

- 開設場所 幸市民館 他
- 時間帯 19:00～20:30
- 対象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 17人(男5人、女12人) ●延べ人数 55人

## 中原 識字ボランティア研修(ブラッシュアップⅠ)

主 題：ボランティアの資質向上を図り、学級の課題解決に繋げる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・24	火	初級日本語に取り組む姿勢と方向性を学ぶ	テキスト「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」を使用し、学習を運営していく上での具体的な手法や技法を学ぶ	「みんなの日本語初級Ⅰ」 著者 平井 悦子
2	12・8	火			
3	1・19	火			

- 開設場所 中原市民館
- 時間帯 14:00～16:00
- 対象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 25人(男2人、女23人) ●延べ人数 67人

## 中原 識字ボランティア研修(ブラッシュアップⅡ)

主 題：ともに学ぶ識字学級をめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・23	土	地域で識字学習を支援するボランティアの資質の向上を図ることにより多文化共生社会の実現をめざす	外国人労働者の現状と貧困問題	首都大学東京 准教授 野元 弘幸
2	2・11	木		会話主体の日本語学習の進め方 中部地区(中原・高津・宮前)合同	明海大学 講師 西川 寛之
3	3・20	土		「やさしい日本語」の作り方	大東文化大学 講師 前田 理佳子

- 開設場所 中原市民館 他
- 時間帯 主に10:00～12:00
- 対象 識字ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 20人(男4人、女16人) ●延べ人数 34人

## 高津 識字ボランティア研修1

タイトル：日本語ボランティアブラッシュアップ研修1

主 題：学習の場づくりにおいて必要とされていることについて学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・25	水	テキストの特性を知ることにより、より効果的な学習支援方法に気付く	新テキスト「接続と文末の練習Ⅱ」を使った学習について	T I J 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
2	12・9	水			
3	1・20	水			
4	11	木	学習におけるコミュニケーションの大切さについて学ぶ	【中原・高津・宮前合同プログラム】 会話スキルを磨いて学習支援を行う方法	明海大学 講師 西川 博之

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 主に13:30～15:30
- 対象 日本語ボランティアまたは関心のある方
- 参加者数 26人(男7人、女19人) ●延べ人数 124人

## 高津 識字ボランティア研修 2

タイトル：日本語ボランティアブラッシュアップ研修 2

主 題：識字ボランティアと活動している方のスキルアップ研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・ 5	土	学習者の理解しにくい部分をわかりやすく説明する方法を学ぶ	学習の現状把握と問題設定をし、その解決に向けた具体的な方法を検討し合う	職員
2	1・ 17	日	説明する方法を学ぶと同時に、識字学級の理念を反映した学級づくりについて確認する	日本語ボランティアをする上での心構えや知識を学び、高津日本語教室（夜）の活動について知る	職員 日本語ボランティアグループ「三木の会」
3	2・ 20	土		日本語の文法について理解し、学習者のレベルに応じた説明方法を学ぶ。また、日本語ボランティアを行なう際の留意点を学ぶ	LTC友の会 アドバイザー 山形 美保子
4	27	土			

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 9:00～12:00
- 対 象 関心のある方
- 参加者数 17人(男4人、女13人)
- 延べ人数 43人

## 宮前 識字ボランティアブラッシュアップ研修 (1)

タイトル：初級・中級クラスでコミュニケーション

主 題：識字ボランティアとして活動している人のためのブラッシュアップ研修

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 19	金	初中級クラスの日本語学習者のための学習支援を考える	学習者との会話から、助詞を引き出すための具体的な手法について学ぶ	LTC友の会(杉並区のボランティア日本語の会) アドバイザー 山形 美保子
2	26	金		レベルの異なる学習者とのコミュニケーション主体の学習支援と課題解決の方法を学ぶ	
3	7・ 10	金	地域で活動する識字ボランティアのより良い活動を探る	他地域の日本語学級の具体的な活動を聞く。講師を交えて今後の活動を考える	

- 開設場所 宮前市民館
- 時間帯 12:30～14:30
- 対 象 日本語ボランティアの活動をされている方
- 参加者数 39人(男6人、女33人)
- 延べ人数 91人

## 宮前 識字ボランティア・ブラッシュアップ研修 (2)

主 題：適切な日本語の指導と効率的な学級運営について

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・ 3	水	宮前日本語(夜)における課題の抽出	学級・グループに混ざり、学習者を指導、ボランティアへのアドバイスによる課題の抽出	学習院大学 教授 前田 直子
2	10	水		学級での実践による課題の整理、検討	職員
3	17	水	宮前日本語(夜)における課題整理と解決	第1回、第2回をふまえ、さらなる課題、解決の方法などについて	前田 直子
4	19	金	宮前日本語(昼)への課題反映と解決	第3回の内容について、宮前日本語学級(昼)へ反映できる部分について	職員

- 開設場所 宮前市民館
- 時間帯 ①～③ 19:00～21:00 ④ 13:00～15:00
- 対 象 ①②宮前日本語学級(夜)のボランティア ③関心のある方 ④宮前日本語学級(昼)のボランティア
- 参加者数 30人(男7人、女23人)
- 延べ人数 44人

## 中原・高津・宮前 識字ボランティア中原・高津・宮前合同研修

タイトル：コミュニケーション能力向上計画

主 題：会話主体の学習の進め方について

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 11	木	学習におけるコミュニケーションについて学ぶ	コミュニケーションについて理解を深めることで、会話スキルを向上させ学習で生かす	明海大学 講師 西川 寛之

- 開設場所 高津市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対 象 日本語ボランティアの活動をされている方、関心のある方
- 参加者数 46人(男11人、女35人)
- 延べ人数 46人

## 多摩・麻生 識字ボランティア研修（入門&多摩・麻生市民館合識字ブラッシュアップ研修）

タイトル：日本語ボランティア入門研修

主 題：地域から多文化共生社会づくりに、自ら考え自ら行動する意識を持てるようにする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 1	木	識字学級を取り巻く環境は、社会経済情勢の変化などにより、様々な課題が生まれている。課題解決のために、行政主体の事業運営に基づく日本語学習支援だけでなく、地域からの多文化共生社会づくりを促すため、自ら課題を発見し、解決することができる個人・団体として、活動していくボランティアの育成をめざす	オリエンテーション／自分を「知る」・仲間を「知る」	職員 元しんじゅく多文化共生プラザ 日本語コーディネーター 吉田 聖子
2	15	木		地域で始めるボランティアの心構えを学ぶ	社会企業家研究ネットワーク CAC 代表 服部 篤子
3	22	木		外国人市民の現状と課題を知る	(財)川崎市国際交流協会 職員
4	31	土		地域日本語学習支援とは	法政大学 教授 山田 泉
5	11・ 5	木		コミュニケーションについて 対人関係の築き方	i&iコミュニケーションラボ 森山 貴代
6	14	土		日本語支援の場の作り方	にほんごの会 くれよん(目黒) 石原 弘子、松本 泰世
7	19	木		活動を「知る」	吉田 聖子
8	26	木		相手を「知る」	
9	12・ 3	木		日本語の学び方	
10	10	木		日本語ボランティアの「土台作り」 教えることを超えていこう！	
11	1・ 7	木		日本語ボランティアを「考える」①	
12	14	木		日本語ボランティアを「考える」②	
13	21	木		日本語ボランティアを「考える」③	
14	23	土		ゲームで学ぶ異文化体験	
15	2・ 4	木		日本語ボランティアを「考える」④ 現場を見る・見学先を知る・心構え	吉田 聖子

●開設場所 多摩市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心がある方

●参加者数 52人(男2人、女50人)

●延べ人数 480人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 5人(男3人、女2人)

●保 育 者 多摩保育グループ

## 多摩 識字ボランティア研修（入門&ブラッシュアップ研修）

タイトル：日本語ボランティア入門研修Ⅱ

主 題：地域から多文化共生社会づくりに、自ら考え自ら行動する意識を持てるようにする

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 18	木	地域からの多文化共生社会づくりを促すため、自ら課題を発見し、解決することができる個人・団体として、活動していくボランティアの育成をめざす	現場から見た識字学級の現状と課題 見学ガイダンス	職員
2	2・ 25 3・ 5 6	木 金 土		グループに分かれて、様々な日本語学習支援の事例を実際に見学する	目黒にほんごの会くれよん (2/25)、武蔵野市国際交流 協会(3/5)、新宿虹の会(3/6)
3	2・ 19 3・ 17	金 水		期間を設定し、川崎市の識字学級の見学(たまにほんごクラス【午前・夜間】を見る)	元しんじゅく多文化共生プラザ 日本語コーディネーター 吉田 聖子
4	3・ 11	木		川崎市の学校教育に係わる日本語学習支援について	総合教育センター 指導主事 佐藤 公孝
5	25	木		日本語学習支援の現場を見て学んだこと・感想の共有化を図る	吉田 聖子

●開設場所 多摩市民館 他

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 関心がある方

●参加者数 27人(男1人、女26人)

●延べ人数 92人

●保育内容 自由遊び

●保育参加者数 5人(男3人、女2人)

●保 育 者 多摩保育グループ

## 麻生 識字ボランティア研修

主 題：川崎市識字学習活動に求められるものとは

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・3	土	川崎市識字学習活動の原点にかえり、日本語ボランティアに求められるものを考える	川崎市識字学習活動の原点に立ち返る	川崎市ふれあい館 職員 原 千代子
2	17	土		グループ学習の意義と進め方	東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
3	22	木		活動内容の検証と成果の共有 (1)	
4	1・16	土		活動内容の検証と成果の共有 (2)	

●開設場所 麻生市民館

●対 象 関心がある方

●延べ人数 87人

●時間帯 10:00～12:00 13:00～15:00

●参加者数 27人(男6人、女21人)

## Ⅱ 3 社会人学級

### 1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

### 2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

### 3. 開催期間・時間

5月8日（金）～3月3日（水）18:30～20:30

### 4. 会 場

教育文化会館

### 5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

### 6. 科目・内容・回数・講師

科目	主な学習内容	回数	講師・助言者など
国語	言語、詩、短歌、俳句、漢詩、随想、物語、論語、読書、輪読、作文、和歌、童話、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	数のいろいろ、正の数・負の数、文字式、方程式、平面図形、空間図形、確率	30	元教師 笠 ヒサ子
特別講座	音楽 歌唱を中心に秋の歌・懐かしい歌・現代の歌等 楽器の話、カヤグムの話と生演奏	2	元教師 高橋 フサノ 石田 洋子
	課外活動 ホームルーム：学級の運営方法などを話し合い、交流を深める	1	職員 藤原 治子 笠 ヒサ子

### 7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	0	2	1	3	4	0	10
女	1	0	2	1	2	5	5	0	16
計	1	0	2	3	3	8	9	0	26

### 8. 延べ人数

803人

## II 4 障がい者社会参加活動

### 教文 教文青年教室

主 題：共に生きる地域社会をつくるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・10	日	グループワークとコミュニケーション 1	自己紹介、班決めミニ映画会	職員 ボランティアスタッフ
2	6・14	日	社会と文化にふれる 1	恵比寿でランチ（スペイン料理『アマポーラ』）と麦酒資料館見学	
3	7・11 12	土 日	グループワークとコミュニケーション 2	夏の一泊旅行（足柄ふれあいの村）	
4	8・9	日	社会と文化にふれる 2	横浜港クルーズ	
5	9・13	日	社会と文化にふれる 3	動物とのふれあい（野毛山動物公園）	
6	10・11	日	スポーツと仲間作り 1	スポーツ交流会（JFE水江体育館）	
7	11・15	日	グループワークとコミュニケーション 3	買い物から料理実習（お祭り屋台メニュー）	
8	12・10	日	スポーツと仲間作り 2	ボウリング大会（鶴見ヤングボウル）	
9	1・10	日	自己表現	初詣と新年会（稲毛神社、カラオケDay Tripper）	
10	2・14	日	社会と文化にふれる 4	温泉施設でリラックス（横浜市高齢者保養研修施設ふれーゆ）	
11	3・14	日	グループワークとコミュニケーション 4	今年度の反省と来年度の計画づくり	

●開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 主に10:00～14:00

●対象 市内養護学校、特別支援学級の卒業生等

●参加者数 41（男29人、女12人） ●延べ人数 284人

### 幸 サンデーフレンドパーク

主 題：地域の仲間といろんな事をやってみる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など	
1	5・17	日	障がいのある人たちがさまざまな活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学べる機会を設け、地域社会における仲間づくりをめざす	新年度顔合わせ 自己紹介	ボランティアスタッフ	
2	6・14	日		料理1、そば打ち	蕎麦打ちボランティア「さいわい蕎麦塾」、 ボランティアスタッフ	
3	7・19	日		竹細工作り	ボランティアスタッフ	
4	8・23	日		旅行準備		
5	9・13	日		旅行（鉄道博物館）		
6	10・4	日		工作、ゲーム		
7	11・15	日		運動		
8	12・12	土		餅つき、中原市民館「ヤングジャンプセミナー」 合同開催、幸区地域教育会議行事参加		
9	20	日		クリスマス会 中原市民館「ヤングジャンプセミナー」に参加		
10	1・17	日		バス旅行（神奈川県三浦市方面）		
11	2・14	日		料理2		料理指導者 新堀 智子、中西 善博 木村 八郎、室井 修 ボランティアスタッフ
12	3・14	日		まとめ		ボランティアスタッフ

●開設場所 幸市民館 他 ●時間帯 13:30～15:30

●対象 主に市内在住の障がいのある方

●参加者数 8人（男6人、女2人） ●延べ人数 95人

## 中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：社会参加と生活を豊かにする方法を学ぼう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・17	日	日常生活とは異なる場での活動や交流を通じて新しく参加した仲間と協調性を育み、全員で活動計画をつくり、自主的な運営によって、障がいのある人たちの社会参加を促進する	受付と年間計画作成	ボランティアスタッフ
2	6・21	日		室内遊び(ゲーム、DVD鑑賞) ※遠足雨天中止による代替プログラム	
3	7・26	日		料理実習(冷やし中華、シューマイ)	
4	9・26 27	土 日		合宿(青少年の家) 室内ゲーム	
5	10・18	日		遠足(夢見ヶ崎動物公園)	
6	11・15	日		運動(卓球) 工作(折り紙のクリスマス飾り)	
7	12・6	日		もちつき体験 ※幸市民館との合同プログラム	
8	20	日		クリスマス会(料理、ゲーム) ※幸市民館との合同プログラム	
9	1・17	日		バスハイク(アサヒビール神奈川工場見学)	
10	2・21	日		料理実習(そば打ち)	
11	3・21	日		1年の振り返り次年度の計画作り	ボランティアスタッフ

●開設場所 中原市民館 他

●時 間 帯 主に 9:30 ~ 14:00

●対 象 障がいのある人

●参加者数 33人(男18人、女15人)

●延べ人数 247人

## 高津 日曜ふれあい広場

主 題：生き生きとした学習活動と社会参加

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・17	日	同じ地域の仲間や、ボランティアスタッフとさまざまな内容の実習や学習活動を行ない、コミュニケーションと余暇の充実、地域社会への参加を図り、ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現をめざす	自己紹介と連絡帳づくり	ボランティアスタッフ
2	6・21	日		太極拳・夏祭り(焼きそば、おにぎり、かき氷屋台)	
3	7・19	日		外出コース(お台場) 館内コース(太極拳、カラオケ他)	
4	8・22	土		わくわくスタジアムinたかつ 高津養護学校ボランティアとゲーム	協力 県立高津養護学校
5	9・20	日		外出コース(ズーラシア) 館内コース(太極拳、カラオケ大会他)	ボランティアスタッフ
6	10・18	日		運動会(高津養護学校体育館) 玉送り、玉入れ、パン食い競争など	協力 県立高津養護学校 ボランティアスタッフ
7	11・15	日		バスハイク(鉄道博物館)	ボランティアスタッフ
8	12・20	日		クリスマス会(飾りつけとビンゴ大会) 太極拳と新井健司さんのピアノ	
9	1・17	日		太極拳、溝口神社まで初詣	
10	2・21	日		バスハイク(三浦半島へ苺狩り)	
11	3・21	日		太極拳、アルバム作り、ふり返り	

●開設場所 高津市民館

●時 間 帯 10:00 ~ 14:00

●対 象 主に区内在住の障がいのある人

●参加者数 40人(男28人、女12人) ●延べ人数 309人

## 宮前 みやまえウインズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に生きる地域社会の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・10	日	いろいろな体験を通じて余暇活動の充実を図るとともに、みやまえウインズを通じて、仲間やサポーターとのつながりあいを強める	4月からまたよろしく！（自己紹介など）	ボランティアスタッフ 職員
2	6・14	日		ボウリング大会・バスハイクの話し合い	
3	7・12	日		バスハイク（東京タワー）	
4	9・13	日		活動の話し合い / 保護者会 / 買い物と昼食	
5	10・11	日		生田緑地へピクニック（青少年科学館・民家園・岡本太郎美術館）	
6	11・8	日		秋の大運動会 / クリスマス会の計画	市立養護学校 教頭 佐藤 肇 他教諭5名、 ボランティアスタッフ 職員
7	12・13	日		クリスマス会	ボランティアスタッフ 職員
8	1・10	日		バスハイク（鉄道博物館）	ボランティアスタッフ 職員
9	2・14	日		バレンタインパーティー	白幡台おやじの会 ボランティアスタッフ 職員
10	3・14	日		お疲れ様会（スライドショー） / 保護者会	ボランティアスタッフ 職員

- 開設場所 宮前市民館 他 ●時間帯 10:00～14:00
- 対 象 区内在住・在勤の知的障がいのある方
- 参加者数 33人（男12人、女21人） ●延べ人数 243人

## 多摩 青年教室

主 題：地域の仲間と充実した社会生活を！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・17	日	集団活動をとおして仲間づくりを図るとともに、地域の人等から様々な活動をとおして指導を受ける中で交流を深め、地域社会へ出ていくことを促す場とする	オリエンテーション 年間計画をたてる	ボランティアスタッフ 職員
②	6・27	土		アート体験（うちわを作ろう）	ボランティアスタッフ 専門指導者 職員
③	7・25	土		料理体験（沖縄料理を作ろう）	ボランティアスタッフ 職員
④	9・26	土		バスハイク①（箱根散策）	
⑤	10・17	土		バスハイク②（多摩動物公園へ行こう）	
6	11・21	土		クリスマス会準備	
7	12・5	土		クリスマス会	
⑧	1・31	日		地域の人から学ぶ①（ボッチャにチャレンジ）	ボランティアスタッフ 市民館利用団体 職員
⑨	2・21	日		地域の人から学ぶ②（和紙絵を作ろう）	
10	3・6	土		反省会	ボランティアスタッフ 職員

※②と③、④と⑤、⑧と⑨の回については、選択により活動

- 開設場所 多摩市民館 他 ●時間帯 10:00～15:00
- 対 象 区内在住・在勤の障がいのある方
- 参加者数 35人（男19人、女16人） ●延べ人数 146人

## 多摩 ダンス・デ・コミュニケーション

主 題：障がいのある人と健常者が一緒に体を動かして学びあう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・29	日	仲間との出会いを通して自分をみつめる	自己紹介 自然な動きの原理をてがかりに体と心をほぐす	コミュニケーションダンス 指導者 佐藤 郁
2	12・13	日	様々なきっかけをもとに、からだを動かす感覚を豊かにする	「鏡ごっこ」(視覚)「操り人形」(触覚)「ステップたたき」等遊びを通して「相手」がいるからこそ思わず自分もという無理のない動きを目指す	
3	1・31	日			
4	2・21	日	表現する⇔受け取るというコミュニケーション、交感の喜びを体感する	型や振りを覚えるのではなく、仲間とともに即興的表現を鑑賞することで個性を尊重すると同時に共有する感覚を分かち合う	
5	3・7	日			

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 障がいのある方、ない方

●参加者数 9人(男3人、女6人)

●延べ人数 41人

## 麻生 麻生青年教室

主 題：地域で仲間と明るく、楽しく、未来へ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など	
1	5・17	日	仲間とボランティアスタッフとの新しい発見、体験、出会いが得られる場となる事を目指す 障がいの有無にかかわらず、同じ地域住民として対等の関係で様々な人と関わりながら活動する	開講式(コンサート♪～一緒に歌おう～と、ゲーム)	ピアノ演奏 一木 未早、板橋 敦子	
2	6・21	日		コース別活動 ボーリングコースと料理(ハンバーグ&サラダ) コース	ボランティアスタッフ	
3	7・19	日		バスハイク(箱根湿生花園と箱根園・芦ノ湖遊覧船の旅)		
4	9・13	日		コース別活動 カラオケコースと料理(チキンマト煮&スープ) コース		
5	10・18	日		ハイキング(郷土の森博物館見学&散策)		
6	11・22	日		バスハイク(隅田川シーバスと横浜マリンタワー)		
7	12・20	日		クリスマス会(クリスマスは!ゲームと音楽会)		デュオグループ 歌正 育友 正隆、村松 正敏
8	1・16	土		みんなでお餅つきの準備		ボランティアスタッフ
9	17	日		餅つき大会		
10	2・21	日		ハイキング(岡本太郎美術館見学と生田緑地散策)		
11	3・21	日		閉講式(ランチと一年間の思い出)		

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 主に 10:00～15:00

●対象 区内在住知的障がいのある青年

●参加者数 33人(男23人、女10人) ●延べ人数 302人



